

# 日本臨床泌尿器科医会 ワークショップ 記録

平成 30 年 (2018 年) 2 月 11 日 (日)・12 日 (月・祝)  
新大阪ワシントンホテルプラザ

日本臨床泌尿器科医会役員一覧（順不同・敬称略）

- 宮崎良春 日本臨床泌尿器科医会会長、(医) 薬院ひ尿器科 理事長、元 福岡市医師会 会長
- 清原久和 日本臨床泌尿器科医会副会長、市立豊中病院 顧問、前 市立豊中病院 総長
- 山口秋人 日本臨床泌尿器科医会副会長、(医) 原三信病院 副院長・泌尿器科主任部長、  
福岡市泌尿器科医会 会長、福岡県医師会理事 事務局長
- 斎藤忠則 日本臨床泌尿器科医会副会長、(医) 東京曳舟病院 泌尿器科部長、中医協 分科会委員、  
先進医療技術委員、東京社保審査委員会主任審査委員
- 岩澤晶彦 日本臨床泌尿器科医会専務理事、(医) 札幌会岩澤クリニック 院長、  
北海道臨床泌尿器科医会 副会長
- 秋山喜久夫 日本臨床泌尿器科医会常務理事・事務局長・財務委員長、  
(医) 秋山泌尿器科 理事長・院長、西宮市泌尿器科医会 会長、  
兵庫県泌尿器科医会 監事
- 佐藤和宏 日本臨床泌尿器科医会常務理事、(医) 北社会 船岡今野病院 理事長・病院長、  
宮城県医師会副会長・健康センター所長、宮城県医師協同組合理事長、  
日本医師会代議員・社保診療報酬検討委員、東北大学泌尿器科教室同門会幹事長
- 正井基之 日本臨床泌尿器科医会常務理事、誠仁会みはま病院 院長、  
日本医師会社保診療報酬検討会 委員、日本泌尿器科学会保険委員会 常任委員、  
日本透析医会社会保険部保険委員会 委員、日本透析医会医療経済委員会経営検討部会 委員、  
外保連委員、日本尿路結石症学会 監事
- 増田光伸 日本臨床泌尿器科医会常務理事、(医) 光伸会増田泌尿器科 院長、  
日本臨床泌尿器科医会神奈川支部代表世話人、横浜市立大学客員教授
- 岩佐 厚 日本臨床泌尿器科医会常務理事、岩佐クリニック 院長、大阪泌尿器科臨床医会 幹事
- 赤枝輝明 日本臨床泌尿器科医会理事・社会保険委員会 副委員長、津山東クリニック 院長、  
日本泌尿器科学会保険実行委員、岡山県臨床泌尿器科医会 会長、  
県立津山東高等学校非常勤講師
- 稲葉 正 日本臨床泌尿器科医会理事、稲葉医院 院長、京都泌尿器科医会 理事
- 太田純一 日本臨床泌尿器科医会理事、横浜市立市民病院泌尿器科 部長
- 岡 伸俊 日本臨床泌尿器科医会理事、岡クリニック 院長、兵庫県泌尿器科医会 会長
- 小川 肇 日本臨床泌尿器科医会理事、(医) 健腎会小川クリニック 理事長・院長、  
昭和大学医学部 客員教授
- 賀屋 仁 日本臨床泌尿器科医会理事・社会保険委員会 委員長、  
南はとがや泌尿器科・内科クリニック 顧問、川口市医師会泌尿器科部会会長、  
日本泌尿器科学会保険委員会常任委員、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 理事・保険委員長、  
埼玉県泌尿器科医会顧問
- 北村浩二 日本臨床泌尿器科医会理事・社会保険委員会 副委員長、  
済生会京都府病院前立腺センター センター長、京都府立医科大学 臨床教授、  
京都泌尿器科医会 会長、日本泌尿器科学会保険委員会中部実行委員長
- 車 英俊 日本臨床泌尿器科医会理事、(医) さくら馬車道さくらクリニック 院長

- 小林峰生 日本臨床泌尿器科医会理事、小林クリニック 院長、愛知県泌尿器科医会 副会長、愛知県国保連合審査委員
- 小林真也 日本臨床泌尿器科医会理事、(医) 萌生舎宮の沢腎泌尿器科クリニック 理事長・院長、北海道臨床泌尿器科医会 会長、社保支払基金北海道支部主任審査委員 運営委員
- 酒本貞昭 日本臨床泌尿器科医会理事、(医) 恵愛会中村病院 副院長、大分県臨床泌尿器科医会 理事
- 佐藤嘉一 日本臨床泌尿器科医会理事、(医) 三樹会病院 院長、札幌医科大学 臨床教授、日本性機能学会 副理事長、International Society for Sexual Medicine 理事
- 瀬尾一史 日本臨床泌尿器科医会理事、瀬尾クリニック 院長、広島県臨床泌尿器科医会 会長
- 高尾徹也 日本臨床泌尿器科医会理事、大阪急性期・総合医療センター 主任部長、大阪泌尿器科臨床医会 幹事
- 長倉和彦 日本臨床泌尿器科医会理事、(医) 陽和会武蔵野陽和会病院 院長、東京泌尿器科医会 会長
- 長谷川徹 日本臨床泌尿器科医会理事、(医) 長谷川病院 理事長・院長、富山県医師会 常任理事
- 富士幸蔵 日本臨床泌尿器科医会理事、昭和大学医学部泌尿器科学講座 准教授、日本泌尿器科学会保険委員会常任委員
- 本間之夫 日本臨床泌尿器科医会理事、日本赤十字社医療センター 院長、元 東京大学大学院泌尿器科学 教授、第 11 代日本泌尿器科学会 理事長、日本間質性膀胱炎研究会 代表幹事
- 松村欣也 日本臨床泌尿器科医会理事、(医) 仁楡会仁楡会病院 院長、札幌市泌尿器科医会 会長、北海道臨床泌尿器科医会 事務局長、日本泌尿器科学会保険実行委員会 委員、札幌市医師会医療保険指導委員会 委員
- 松本純一 日本臨床泌尿器科医会理事、(医) あんず会まつもとクリニック 院長、日本医師会 常任理事
- 真弓研介 日本臨床泌尿器科医会理事、(医) 研友会真弓皮膚泌尿器科医院 院長、高松市医師会 副会長、香川県医師会 理事
- 柳澤 温 日本臨床泌尿器科医会理事、市立大町総合病院
- 山口健哉 日本臨床泌尿器科医会理事、日本大学医学部附属板橋病院 科長、日本大学医学部泌尿器科学分野 准教授、東京社保診療報酬請求賞審査委員会審査委員、日本泌尿器科学会保険員会 書記
- 成田晴紀 日本臨床泌尿器科医会監事、成田クリニック 院長、愛知県泌尿器科医会 会長、名古屋臨床泌尿器科懇話会 代表世話人
- 蓑田国廣 日本臨床泌尿器科医会監事、(医) 十全会みのだ泌尿器科医院 理事長、宮崎県泌尿器科医会 会長、宮崎県国保連合審査委員

## 「ワークショップ」を開催して

会長 宮崎 良春

さる4月22日に第21回日本臨床泌尿器科医会総会が京都で開催され、私、宮崎良春が会長に再任され、今後2年間の医会の運営に携わることになりました。会員の諸先生には今後ともよろしく御指導、御鞭撻をお願い致します。

昨年の平成29年6月3日創立20周年の記念式典・講演会を東京明治記念会館で開催された事をまず御報告申し上げます。

その際これを機会に日本臨床泌尿器科医会として「ワークショップ」を行い、医会の理念、保険に関する問題、オフィスウロロジーの問題など色々と議論をすべきではないかとの意見があり、平成30年2月11日～12日の2日間、新大阪ワシントンプラザホテルで泊まり込みのワークショップを開催致しました。今回はまず前述の3つの活動について理事会役員を3組に分けて討議致しました。創立20年は人間でいえば成人という節目の時に、このような有意義な会合を持てたことに感謝すると共に、これからの医会をどうするのか考える機会になればと思っております。

そのことをまとめたワークショップ記録を会員諸侯に閲覧していただき、御意見を頂戴したいと考えます。

## 日臨泌ワークショップ開催への道のり

副会長 清原 久和

日本臨床泌尿器科医会初代会長は故前川正信先生でありました。先生は日本の医療の中で、泌尿器科診療の評価と泌尿器科医の地位の向上を目指し、日本泌尿器科学会を補完する組織として臨床医会を設立されました。これを受けて具体的な成果を得るために、厚労省、支払基金と強いつながりをお持ちであった故吉田英機先生が二代目会長となられ、泌尿器科診療報酬の改定、適応拡大、項目の新設に多大な貢献をされました。2年前には三代目会長として宮崎良春先生が就任されました。先生は元福岡市医師会長ですが、当時の福岡県医師会長が現在日本医師会長の横倉義武先生であり現在も強力なつながりをお持ちであります。このように3代の会長のもと、20年をかけて全国区でないとできない厚労省、日本医師会とのつながりを持つ体制を造り地道に成果を挙げてまいりました。

研究、教育、診療について泌尿器科学会の役割が重要であることは当然のことですが、泌尿器科日常診療、特に内科的泌尿器科診療について、臨床医会の役割は大きいと考えられます。今後療養型病院、老健施設、在宅医療で病診・診々連携について取り組む課題は、数多くあると予想されます。特に、以前より他の診療科と一緒に我々が日本医師会診療報酬検討委員会で提案していた、在宅医療での複数診療科の診療が今回の改定で保険診療を認められたため、今後「在宅へ」という政府の施策と相まって、泌尿器科の需要は増えると考えられ、泌尿器科開業医の役割は重要であります。さらに他科診療科との連携の中で、泌尿器科医の社会的認知度が向上するよう将来像を模索していかなければなりません。このような思いから数年前から理事を中心にして将来構想についてワークショップを企画しておりましたが、事務局の秋山先生、富永・大森諸氏による資料作成、会場設定など献身的なご尽力で開催する事が出来ました。今回はまず、(1) 将来構想を含めた臨床医会の理念(2) まだまだ会員の皆様に不満の多い保険診療の問題点、(3) より社会認知が求められるオフィスウロロジー(泌尿器科開業医診療)について議論致しました。

今後は今回のワークショップで求められた目標を達成し、また新たな課題を見つけて取り組むことができると願っております。

# 日本臨床泌尿器科医会ワークショップ

## - オフィスウロロジー部 -

参加者：宮崎 良春、岩澤 晶彦、増田 光伸、秋山 喜久夫、岩佐 厚、小林 峰生、  
瀬尾 一史、真弓 研介、成田 晴紀

### 【理念】

「保険審査」および「診療報酬」に関する問題点或いは要望事項の受け皿として活動し、泌尿器科開業医の診療の質の向上と経済的基盤の強化に貢献する。

### 【事業目的】

1) 「保険審査」および「診療報酬」に関する問題点を集積し社会保険部に提出

(1) 「オフィスウロロジーの保険審査」に関する問題点或いは要望事項

日臨泌会員にアンケート調査を行う。担当を瀬尾先生にお願いして、問題点および要望事項を整理する。整理したアンケート結果を日臨泌の「社会保険部」で審議し、これらの経過および結果を広報部を通して会報やHPに掲載する。

(2) 「オフィスウロロジーの診療報酬に関する事項」

日臨泌会員にアンケート調査を行う。担当を瀬尾先生にお願いして、要望事項を整理する。整理したアンケート結果を日臨泌の「社会保険部」で審議し、これらの経過および結果を広報部を通して会報やHPに掲載する。

- ① 尿閉患者の排尿自立支援（看保連との共同提案）
- ② 排尿日誌の点数化
- ③ カテーテル留置および交換（看保連との共同提案）
- ④ 医材料の逆ザヤ解消
- ⑤ 外来管理加算より低い処置点数の見直し

2) 在宅医療を始めてとした高齢者排尿管理評価の向上に取り組む

3) オフィスウロロジーが発展するためのエビデンスを集積し日臨泌会員に発信する。

日臨泌会員を対象とした「オフィスウロロジーの標榜科別のレセプト1件あたりの平均点数」の調査

4) 会員の増強に努め、地域泌尿器科医の連携を図る。

診療報酬改定に対する活動および経過を地域泌尿器科に発信する。

オフィスウロロジストが主導して勤務医の入会を増やす。

#### 【オフィスウロロジー部の組織体系】(別紙 1)

1. ブロック制：全国を7ブロックに分け、各ブロックにブロック責任者を置く。
2. オフィスウロロジーの理事は、各都道府県の委員になる。
3. 会員数の多い県で、オフィスウロロジーの理事が不在の都道府県には委員を置く。
4. 将来的に、各県に委員を配置する。

#### 【ブロック責任者と委員の役割】

ブロック責任者から各県の担当委員に連絡事項を伝達したり、或いは各県の担当委員からの情報をブロック責任者に集めたりする体制を構築。

オフィスウロロジ一部の組織体系 (別紙 1)

ブロック	責任者	都道府県	委員	委員	委員	H29.1会員数
北海道	岩澤晶彦	北海道	松村欣也	小林真也	岩澤晶彦	136
東北	佐藤和宏	宮城	斎藤俊典			33
		青森				7
		岩手				11
		秋田				6
		山形				7
		福島				8
関東甲信越	増田光伸	東京	小川肇			96
		神奈川	木下裕三	加藤忍	増田光伸	183
		千葉	倉持宏明			70
		埼玉	賀屋仁	加藤裕二		48
		山梨				11
		長野	古畑誠之			28
		茨城				25
		栃木				4
		群馬				12
		新潟				3
東海北陸	成田晴紀	富山	長谷川徹			16
		石川				18
		福井				7
		岐阜				12
		愛知	小林峰生	山内智之	成田晴紀	38
		三重				14
		静岡				15
近畿	秋山喜久夫	滋賀				15
		京都	稲葉正			26
		大阪	岩佐厚			213
		兵庫	岡伸俊	秋山喜久夫		108
		奈良				24
		和歌山				14
中国・四国	瀬尾一史	鳥取				4
		島根				19
		岡山	赤枝輝明			33
		広島	瀬尾一史			42
		山口				55
		徳島				12
		香川	真弓研介			26
		愛媛				19
		高知				11
九州	宮崎良春	福岡	山口秋人			95
		佐賀	山口秋人			12
		長崎	山口秋人			7
		熊本	酒本貞昭			13
		大分	酒本貞昭			14
		宮崎	蓑田国広			28
		鹿児島	蓑田国広			20
		沖縄	蓑田国広			20



# 日本臨床泌尿器科医会ワークショップ

## - 社会保険部 -

参加者：清原 久和、斎藤 忠則、正井 基之、賀屋 仁、赤枝 輝明、稲葉 正、  
小川 肇、山口 健哉

2018年1月末に日臨泌会員を対象にアンケート調査を行った。その結果をみると、会員の9割以上が国民皆保険制度は必要であると考えていると答えている。しかし、保険審査の結果については会員の7割が不満であるという意見があった。ここで、保険グループは4つの課題1) 保険改定について、2) 審査懇談会、3) 保険教育、4) 日臨泌活動の発信について討論しその結果をまとめた。

### 1) 保険改定

キャッチコピー：日臨泌独自の改定要望を

保険改正には日臨泌はJUAと違い、オフィスウロロジー主体で、処置、管理料などの要望が主体であり独自の申請経路の開拓が必要と考える。

現在申請経路としては(1) 日医・診療報酬検討委員会、(2) JUAを介しての外科系学会保険連合（外保連）、内科系学会保険連合（内保連）、(3) 看護系学会等保険連合（看保連）の4経路がある。その中で 日医・診療報酬検討委員会、内保連は申請後の経路が明らかではない。看保連は日臨泌にはそぐわない。外保連は外保連試案を作成すれば厚生労働省と直接ヒアリングができるというメリットがあり、独自で外保連加入が良いと考えられる。外保連参加には40万円負担金、3年以上の保険活動（委員会）が必要であるが可能な課題である。

(1) 外保連試案の基本的な考え方 (2) 医療技術提案書内容説明

### 2) 審査委員懇談会

キャッチコピー：審査員懇談会の見える化

昨年までJUA総会開催大学の所属都道府県医会に司会をお願いしていたが会の進行、趣旨が旨く反映されていなかった。審査委員懇談会の司会を日臨泌保険委員（社会保険部）主体で行い充実を図る。会員専用Webに議題の公表をする。

### 3) 保険教育

キャッチコピー：泌尿器科保険教育は日臨泌にお任せ

JUA 保険教育プログラム講師ははっきりしていなかったが日臨泌共催で講師派遣することとし、地方へも講師派遣し、講習拡大する。また、後期研修医にオフィスウロロジーの必修化をする。研修医に指導するには初期臨床研修指導医資格が必要である。専門医試験対策直前講座に保険教育に講師推薦をし、会員獲得に都力をする。

#### 4) 日臨泌保険活動の発信

キャッチコピー：保険事業の見える化

保険委員会（社会保険部）活動が公表されていないため Web（会員専用）に広報するとともに、手引き（保険診療の手引き）を冊子（+ CD）を改正ごとに発行する。

# 日本臨床泌尿器科医会ワークショップ

## - 日本臨床泌尿器科医会の理念について -

参加者：山口 秋人、佐藤 和宏、長谷川 徹、酒本 貞昭、佐藤 嘉一、高尾 徹也、  
蓑田 国広、吉田 豊彦

理念グループは、日本臨床泌尿器科医会の理念につき、基本概念の再確認をした。  
それに基づき、理念とそれを具体的に表す5つの項目としてまとめた。

またこれらの実行のためには各地域の泌尿器科医会と日本臨床泌尿器科医会の関係性を構築による組織強化と、広報活動の充実が必要であるとの結論となった。

### 1) 理念についての基本ポリシー

- (1) 臨床泌尿器科医会の意義を明確にする
- (2) 規約の「目的」を、わかりやすく表現
- (3) 会員に入会のメリットを示し、特に若い泌尿器科医にとって魅力あるメッセージを目指す。

### 2) 理念のキャッチフレーズ

～臨床泌尿器科の発展 そして地域医療への貢献～

- (1) 泌尿器科の保険診療の向上
- (2) 泌尿器科診療の質・経営基盤支援
- (3) 泌尿器科医のライフプラン支援
- (4) 組織基盤の強化
- (5) 行政および他医療組織との連携

### 3) 各項目に関して

#### (1) 泌尿器科の保険診療の向上

日本臨床泌尿器科医会は保険診療の向上に貢献しています。

- ① これまでの保険診療に関する貢献を広報活動を通じ広くアピールしてゆく。

例) 日臨泌主導の審査委員懇談会

- ② 審査内容・問題点のHPでの公開
- ③ 全国の保険審査委員の日臨泌入会
- ④ 全国で異なっている保険審査委員の任命にかかわる

⑤ 個別指導の情報開示・提供

(2) 医療の質・経営基盤支援

① 日本臨床泌尿器科医会は第一線での泌尿器科医療を支えます。

② オフィスウロロジー部の活躍

③ 講演会

④ 経営に有益な情報の提供 例) 泌尿器科経営指標の調査・研究

(3) 泌尿器科医のライフプラン支援

・日本臨床泌尿器科医会は、会員の皆様と共に泌尿器科医のライフプランを考えてゆきます。

大学・医局をやめた後の開業・勤務への情報提供 勤務医の定年後の支援

・事業承継の支援

・ED・男性更年期・STD などサブスペシャリティの構築の支援

例) 講演会

(4) 組織基盤強化&(5)行政および他医療組織との連携

これらの目的を実現するために日本臨床泌尿器科医会は組織力の強化と行政および他医療組織との協力を進めます。

・会員増加

・各県の医会と日臨泌との関係構築

- 各地域の責任者 (OU) の先生に頑張ってください -

・一般社団法人化

・広報

・法人化にともなう事務局機能強化

・日泌総会時の日臨泌総会での講演会の利用

5) 広報活動・日泌総会時の日臨泌総会に関して

・広報

HP の充実・更新 システムの構築 (責任者を定める)

会報の A4 化、電子化 (例: 東京泌尿器科医会) など

・日泌総会時の日臨泌総会に関して

日泌総会: 木~土 (日曜はビデオセッション)

日臨泌総会の今後の日程は検討が必要かもしれない。

日泌と交渉し、講演会の別の曜日・プログラム枠をもらうなど、講演会の有効活用を検討してゆく。